

はじめに

日本人の英語学習者の多くは、**単語数が 3000 語を超える頃に壁にぶつかります。**

それは、覚えるべき単語がだんだん長くなり、見覚えがなくなるからだけではありません。それまでのバラバラに英単語を覚える方法では暗記の限界に達するからです。

単語帳を使ってひたすら暗記をくり返す力ずくの方法や、「fickle は、“不意来る”だから“気まぐれな”」式に語呂合わせで日本語にこじつけて英単語を覚えようとしても、すぐ忘れてしまいがちになります。また、正しい発音を知らない「カタカナ英語耳」しかできないので、実際のスピーディーな英会話の際にはあまり役に立ちません。

これは、努力や根性だけでは解決できない問題です。単語数 3000 語の壁を突破するためにも、「正しい発音」と絡めた、英単語を組織的に身につけられる新しい方法を採用する必要があります。

そのために有効なのは、英語の「本質」にそった学習方法を取り入れることです。**ネイティブと同じ脳内語彙空間（脳の中に英単語をしまうやり方）をつくれるレッスン**を行なう必要があります。

その回答として用意されたのが本書『単語耳 英単語八千を一生忘れない「完全な英語耳」 実践編Lv.3』(以下、『単語耳』Lv.3)です。

英単語の中には、漢字の木偏や草冠のような意味イメージが隠されています。その意味イメージ = **語根** (単語の核となる部分) の「音」を知れば、英単語を正しいイメージと発音をともなって記憶できるようになります。

たとえば、語根 **spect** の「音」に「見る」というイメージを感じられるようになれば、**inspect** (検査する)、**respect** (尊敬する)、**perspective** (遠近法) の習得は容易になり (in は「中へ」、re は「再び」、per は「通して」というニュアンスを持つ接頭辞です)、リスニングの際にも、すぐに相手の言わんとすることやニュアンスを絵を見るように思い描けるようになります。英語の名文もより深く味わえるようになるでしょう。

『単語耳』Lv.1 & 2 や他の英語学習書などで語彙 3000 語をほぼマスターし

ているというみなさんに、この本では、**正しい発音をともなった語根の活用方法**をお伝えします。本書を使えば、『単語耳』のLv.1～3で学ぶ計5500語を突破して、さらには1万語、いや2万語以上の英単語を身につけるための「語源活用のテクニック」が身につくのです。

では、なぜ、語源（語根や接頭辞、^{せつびり}接尾辞等の“単語の源”の総称）を使った学習方法は広く普及していないのでしょうか？ これまで世間でめざましい効果を上げて来なかったのはなぜ？ それには2つの理由があると考えます。

1つには、従来の語源学習書では、ともすると語源のウンチクを語ることに重きが置かれてしまい、逆に「正しい発音」については軽視されてきたことがあります。

もう1つは、英語学習の過程において、ベストなタイミングで語源が活用されてこなかったことです。ベストなタイミングとは、英語の語彙数が3000単語を超える頃を指します。この頃に初めて、語源の知識を取り入れるべきなのです。これが、英単語独特の構造にそったベストなタイミングなのです。

『単語耳』Lv.1、Lv.2で詳しくお伝えしてきたように、**単語は「正しい発音」と結びつけると、忘れなくなります**。極端に言えば、仮にスペルミスをして、**「正しい発音」**に基づいて書いていけば、ネイティブに通じるミスになります。

そして本書で、語源を活用して単語をグループ化して練習してみると、似たような発音が並んでいるとはっきりわかります。この、「**語源**」と「**正しい発音**」を**組み合わせた練習をすることが、最強にして最短の記憶方法になる**のです。

本書では、単語を語根でグループ化して、付属の音声CD 2枚に収録してあります（収録単語数は、Lv.3で新たに学ぶ上級2500語に、Lv.1 & 2の一部の単語を加えた約3100語です）。このCDをまねて発音練習をすれば、単語の正しい発音が身につくと同時に、無意識のうちに**語源の意味と音の感覚**が身につく、脳に焼きつくようになっていきます。ぜひ、今日にも付録CDを使って練習を始めてください。

本書の「実践編 Lv.3」（p.029～）では、付録CDを使って、まず30の語根から派生する約800単語を身につけます。続けて、第2部では約170個のラテン語（語根）から派生する約1100単語を身につけます。つまり、**合計1900個の英単語を合計200個の語根でグループ化して身につける**わけです。

この200語根は、『単語耳』Lv.1～3までの合計5500単語の約40%をカバーしています。さらに語彙の範囲を10万語の中型辞典に増やすと、6000語以上を、この200個の語根から類推可能になります。

本書で「音」を使った語源レッスンをすれば、単語の意味と音を相互に関連づけ、グループ化して覚えることになりますし、さらには知らない単語でも意味を類推でき、簡単に覚えられるようになるのです。

たとえば語根 **form** (形作る) からは、難しい単語である **reformatory** (少年院、感化院)、**conformation** (立体構造) が推測できるようになります (con が「一緒に」の意、form が「形作る」の意、ation が名詞化する語尾の言葉です。化学で学ぶ、分子が立体的に組み合わさった構造をイメージしてください)。

この効果により、語彙のレベルがイッキにネイティブに近づきます。

単語は、発音とペアで身につけると一生忘れません。そして、英単語のアクセントは語根の部分にある場合が少なくありません。

『単語耳』Lv.2ではアクセントがある音節をたよりにして、音ですばやく単語を検索できる脳を作りました。Lv.3でさらに語根の部分の意味イメージを知ると、音と意味とが結びついて、英単語を立体的に明快なイメージで記憶できるようになります。するとネイティブと同じ感覚で英単語を使いこなせるのです。

単語の中の語根の持つ「意味イメージ」と「音」をあなたの脳にすり込んでおくと、音で脳内の単語を検索するときに、語根の意味を蓄えている記憶領域も同時に検索されるようになります。あなたの脳の中に瞬間的かつ立体的に、単語の持つイメージがはっきり形作られるようになります。日本語を介さずに、極めて強烈にパッと意味がイメージ可能になります。

こうして発音とスペルと意味が結びついて、これに学校で習った英文法と洋書の多読が組み合わせられれば、大学卒の英米人並みの「完全な英語耳」が完成するのです。

本書を使った語源学習には、次のような特徴と優れた点があります。

- ① 本書を見ながら付録 CD について口を動かしていけば、「発音」「スペル」「語源」「単語の意味」を立体的に同時に脳にすり込めます。「聞く」「読む」「話す」「書く」のすべてに使える単語力を獲得できます。
- ② 「JACET8000」という英単語使用頻度^{ひんど}リストの TOP 5500 の中の 3100 語を利用するので、実効性が高い単語が厳選されています。
- ③ 語源で JACET を分析し、重要な語根ランキング TOP30 を見つけ出しました。この 30 のグループを使えば効果的に 800 単語を学習できます。
- ④ 付録 CD で単語を「発音」主体で覚えられ、自然に「語根の音感覚」まで身につきます。
- ⑤ 表内の単語では、語根部分の文字色を青に変えてあるので、接頭辞^{プラス}十語根の構造がひと目でわかります（実践編 Lv.3 の第 1 部、第 2 部）。
- ⑥ 実践編 Lv.3 の第 3 部では『単語耳』Lv.1 と Lv.2 の理論（黄金の 56 パターン）を使った、効果的な音読レッスンを行ないます。音学習のさらなる上位レベルへと進めます。
- ⑦ 語源に関する本格的な情報を伝える「ラテン語情報のコラム」は、実践編 Lv.3 の第 4 部にまとめました。音読レッスン時の単語表のそばにいちいち長い関連解説があると、気が散って、音読練習の邪魔^{じゃま}になるのでは、という配慮から別扱いにしています。
- ⑧ その「ラテン語情報コラム」には、ラテン語情報をたっぷり載せました。語源の謎^{なぞ}に関して、私が過去 40 年にわたって調べてきた情報を凝縮したものです。従来の語源学習書には書かれていない、本格的で実用的な知識を得られます。
- ⑨ 語根で単語をグループ化して覚える方法は、5500 語の先の 1 万語レベルになるとさらに価値が増します。今後のことを考えてもお得です。

私は大学受験のときに語源の世界を知り、大きなインパクトを受けました。その後40年間、私は常に、辞書を引く際に語源をチェックしてきました。今では辞書を引くと、語源をチェックするだけで、その単語のイメージがわいてきます。急ぐときは辞書に書いてある意味の欄は読まなくなりました。語源をチェックすると単語の生い立ちがわかります。単語の持つ歴史の重みを感じると、洋書の多読の中で出会う単語に、「がんばってるね！」と声をかけたくくなります。英語圏の作家が、単語の深い意味イメージを巧みに使って、適切な単語を選んで文章を書いていると気づきます。英文はアルファベットを並べただけの無味乾燥なものではないのです。英文も、作家により、癒やされる文章、読みやすい文章、教養あふれる文章、難解な文章、稚拙な文章などさまざまです。本書で学習すれば、その違いがわかる感覚を身につけられるでしょう。

2500年前にすでに、ラテン語には英語とそっくりな単語が驚くほど豊富に存在していました。このことはあまり知られていませんが、知らないともったいないと思います。みなさんに、これに気づき、感動していただきたい。感動・驚きで語源に強い興味をもっていただきたい。そう願って本書の後半にまとめた「ラテン語情報コラム」を書きました。最初は無視しても良い内容ですが、いずれぜひ語源のいろいろなウンチクを楽しんでください。

たとえば、なぜ second には「第2の」と「(時間の)秒」の2つの意味があるのか、という話。ビデオ (video) は2500年前は、「私は見る」という意味だったという話。ambitious「野心がある」の2500年前のものという意味は「選挙演説をしてみわる」という意味だったこと (ambi は「まわりに」という意味)。election「選挙」では、lect に「選ぶ」という意味があるが、elegant「エレガントな」にも lect (選ぶ) が隠れているという話 (男性が争って選ぶような「優雅な(女性)」という意味が隠れています) ——音読レッスンの合間に、息抜きとして、ぜひこうした話を楽しんでください。

本書で、最強の語源活用方法を身につけ、あなたの語彙獲得方法に革命を起こしてください！

では、単語力を 3000 語→ 5500 語以上に伸ばす、
別次元への旅をはじめましょう！

● 21 位 与える (do, dat, dit など)

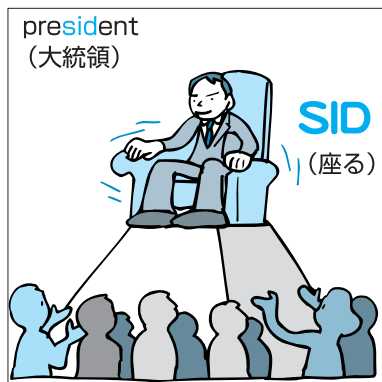


「与える」イメージを [deit] [doun] [di] 音とそのつづりに結びつけましょう。くり返して慣れることで自然に結びついていくのが理想です。語源の解説は p.211 参照。

☺ 21 位 与える (do, dat, dit など) | 🎧 CD 1-10

1479	da·ta	[dɛitə]	【名】 データ / 与えられたものの意
3191	da·ta·base	[dɛitəbɛis]	【名】 データベース、情報の集まり
4204	do·na·tion	[dounɛɪʃən]	【名】 寄付、寄贈 / 与えること
5067	do·nate	[dounɛit]	【動】 寄付する、寄贈する
4813	do·nor	[dounə]	【名】 提供者、ドナー
3351	dose	[dóus]	【名】 薬の 1 回分、1 服
587	date	[dɛit]	【名】 日付、デート、【動】 デートする / 日付を与える
3810	up·date	[ʌpdɛit]	【動】 最新にする、【名】 最新情報 [〈名〉ʌpdɛit]
457	add	[æd]	【動】 加える、足す
4217	ad·ed	[ædid]	【形】 追加の、足された
3048	ad·di·tion·al	[ədɪʃənəl]	【形】 追加の / ad- (〜に) + 加える
3386	ad·di·tion	[ədɪʃən]	【名】 足し算、追加
3818	ed·it	[édit]	【動】 編集する / e- = ex- (外に) → 出版する
3298	e·di·tion	[edɪʃən]	【名】 本の版
4455	ed·i·to·ri·al	[éditɔəriəl]	【形】 編集の
3285	rent	[rént]	【名】 賃貸料、【動】 賃借りする / 古仏語 rente 返した
3655	ren·der	[réndə]	【動】 渡す、与える、反射する / re- (返して)
4623	sur·ren·der	[səréndə]	【動】 明け渡す、降伏する / sur- 下に (従属して) + 置く
857	tra·di·tion·al	[trədɪʃənəl]	【形】 伝統的な、慣習的な / tra- (時代を渡って、横切って)
1220	tra·di·tion	[trədɪʃən]	【名】 伝統、しきたり

● 20位 座る (sid, sess, sult など)



「座る」というイメージを sid, sess などに結びつける練習です。もっとも難しい [s] 音がたくさん練習できるので、25位の [si:k] [su:] 音同様にじっくり取り組んでください。語源の解説は p.212 参照。

😊 20位 座る (sid, sess, sult など)

🎧 CD 1-11

3130	as·sess	[ə'sés]	【動】 査定する、見積もる / as- (～に向けて) 十座る
3163	as·sess·ment	[ə'sésmənt]	【名】 査定、見積もり
3368	con·sult	[kənsʌlt]	【動】 助言を受ける、意見を聞く / con- (一緒に) 十座る
2607	con·sul·tant	[kənsʌltənt]	【名】 顧問、コンサルタント
5463	con·sul·tan·cy	[kənsʌltənsi]	【名】 コンサルタント業
3585	con·sul·ta·tion	[kənsʌltéifən]	【名】 助言、コンサルト
425	pres·i·dent	[prézi'dɛnt]	【名】 大統領、会長、社長 / pre- (人前に) 十座る
4727	pre·s·i·den·cy	[prézi'dənsi]	【名】 大統領や社長の地位
3308	pres·i·den·tial	[prézi'dénʃl]	【形】 大統領の、社長の
2321	pos·ses·sion	[pəzə'sjən]	【名】 所有
3094	res·i·dent	[rézi'dənt]	【名】 居住者 / re- (再び) 十座る→住む
3761	res·i·dence	[rézi'dəns]	【名】 住宅、官邸 (かんてい)
5394	res·i·due	[rézi'dju:]	【名】 残留物
3504	res·i·den·tial	[rézi'dénʃəl]	【形】 住宅向きの
2328	set·tle·ment	[sétlmənt]	【名】 解決、和解、移民すること
3084	ses·sion	[séʃən]	【名】 会議、会期 / sess- (座って) 十行なう→会議
4770	sed·i·ment	[sédəmənt]	【名】 液体中の残留物
5040	sad·dle	[sædl]	【名】 鞍 (くら)、サドル
3738	sub·si·dy	[sʌbsədi]	【名】 補助金 / sub- (補欠で) 十座る (置く)
3898	sub·sid·i·ary	[səbsidiəri]	【形】 補助的な、支援の / sub- (下、補助的)